

大正区の 都市景観資源紹介



大正区の都市景観資源

大阪市では、大正区の都市景観資源の発掘のため、大正区まちづくり委員会がまちビジョン部会との連携により「わがまち自慢の景観」を募集し、大阪市都市景観委員会の審議を経て、平成24年3月30日に7件を都市景観資源に登録しました。

1. 大正区の渡船場の景観



甚兵衛渡船場



落合上渡船場



◆概要

大正区は四方を川と海に囲まれた地域であり、橋梁が整備された現在も、渡船は、区民の生活に欠かせない貴重な足としての役割を担っている。市内に8ヶ所ある渡船場のうち7ヶ所は大正区にあり、その景観には、水の都に思いを馳せさせるとともに、深く歴史を感じさせる力がある。

◆所在地

大正区泉尾7丁目13番、港区福崎1丁目3番、大正区千島1丁目29番、西成区北津守4丁目15番、大正区平尾1丁目1番、西成区津守2丁目8番、大正区南恩加島1丁目11番、西成区南津守5丁目6番、大正区北恩加島2丁目5番、鶴町4丁目1番、鶴町1丁目16番、船町1丁目3番、船町1丁目1番、住之江区平林北1丁目1番



船町渡船場



落合下渡船場

- 甚兵衛渡船場：大正区泉尾1丁目と港区福崎1丁目を結ぶ(岸壁間94メートル)。
- 落合上渡船場：大正区千島1丁目と西成区北津守4丁目を結ぶ(岸壁間100メートル)。
- 落合下渡船場：大正区平尾1丁目と西成区津守2丁目を結ぶ(岸壁間138メートル)。
- 千本松渡船場：大正区南恩加島1丁目と西成区南津守5丁目を結ぶ(岸壁間230メートル)。
- 千歳渡船場：大正区鶴町3丁目と同区北恩加島2丁目を結ぶ(岸壁間371メートル)。
- 船町渡船場：大正区鶴町1丁目と同区船町1丁目を結ぶ(岸壁間75メートル)。
- 木津川渡船場：大正区船町1丁目と住之江区平林北1丁目を結ぶ(岸壁間238メートル)。

2. 木津川水門



◆所在地

大正区三軒家東3丁目6番

◆概要

木津川水門は、造船所などがならぶ木津川にあるアーチ型水門である。台風などで押し寄せてくる大阪湾からの高潮をせき止めることを目的に、昭和45年(1970年)11月に整備された。

アーチ型ゲートの主水門とスイング式ゲートの副水門からなっており、主水門の径間は57m、副水門の径間は15mである。ともに緑色で彩られ象徴的な景観を呈している。

3. 千島公園(昭和山)



◆所在地

大正区千島2丁目7番

◆概要

千島公園は、昭和51年(1976年)4月に開園された約11.2haの区を代表する総合公園である。

千島公園内にある昭和山は、江戸時代に造られた天保山を模して昭和に造られた人工の山である。クスノキやケヤキなどが茂り、ツツジ、ヤマブキ、クチナシ、アセビが花を咲かせる大正区のシンボルとなっている。